

## 女川町震災復興事業[女川駅前シンボル空間]が 2018年グッドデザイン賞を受賞

宮城県女川町の「女川町震災復興事業[女川駅前シンボル空間]」が、2018年グッドデザイン賞を受賞しました。

CFKは、2011年の復興計画の策定支援に始まり、まち全体の社会基盤整備の基本設計、官民の復興まちづくりのコーディネートを実施してきました。

今回、受賞対象となった女川駅前シンボル空間は、『女川の地形的特性を生かして、それに素直な「海を眺めてくらすまち」というコンセプトを、視覚的にも、空間体験としてもシンボライズする空間のデザイン。実際に訪れてみると、駅から海辺に抜けるビスタと、適切に設定された緩やかな下り勾配と、軒高を低く抑えた周辺施設の組み合わせの妙により、これまでもありそうでなかった、海に向かって開けた賑わい空間が生まれていることに気づく。実際に訪れてみて良さが読み取れる作品。』との評価を受け、受賞に至りました。

CFKは、受賞地区の空間デザインを議論する「女川町復興まちづくりデザイン会議」の事務局として、また、商業エリアの景観を議論する「女川駅前商業エリア景観形成推進協定運営委員会」の事務局として、地域の皆さんと専門家が議論する場をコーディネートしています。

2018年グッドデザイン賞受賞概要：<https://www.g-mark.org/award/describe/48009?token=XhuNkt59Oe>

ONAGAWA days：<http://onagawadays.jp/>

受賞対象	面積	応募者	デザインコンセプト
女川町震災復興事業 [女川駅前シンボル空間]	約 6.6ha	宮城県女川町 女川みらい創造株式会社 女川町復興まちづくりデザイン会議 株式会社建設技術研究所・中央復建コンサルタンツ株式会社共同企業体 独立行政法人都市再生機構 宮城・福島震災復興支援本部 小野寺康都市設計事務所 東 環境・建築研究所 株式会社プラットデザイン 女川駅前商業エリア景観形成推進協定運営委員会 鹿島・オオバ女川町震災復興事業共同企業体	官民一体で創り上げた 「海を眺めてくらすまち」



レンガみちは元旦の日の出の方向に線形を向けることで、新たな出発の思いを込めるとともに、海を眺めながら商売する女川らしい風景の創出を目指した。